

□■養成所ニュースプラス第6号 2023□■

早いもので、明日から7月に入ります。第34期生の皆さんは最後の5学期レポート、第35期生の皆さんは初めての1学期レポートに取り組まれていることと思います。進捗状況はいかがでしょうか。レポート作成も大事なのですが、テキスト全体を読み込むことをお忘れなく。

今月14日に、新たな基本法、「共生社会の実現を推進するための認知症基本法案」(以下「認知症基本法」)が成立しました。今回は「人体の構造と機能及び疾病」(現、医学概論)から認知症についての問題です。今回も選ばなかった選択肢のどこを直せば適切になるかあわせて考えてみましょう。

■Plus Quiz・・・・・・・・

【第32回問題6】次のうち、脳血管性認知症の特徴的な症状として、適切なものを2つ選びなさい。

1. パーキンソン症状
2. まだら認知症
3. 幻視
4. 感情失禁
5. 常同行動

正答と解説は最後に記載してあります。

■Yoseijo Info・・・・・・・・

- ・(34期生)教育訓練給付制度(専門実践教育訓練)の支給希望の方へ
申請書類一式は原則として、再発行はできませんので、お取り扱いにはご注意ください。
本養成所からの申請書類発行のため、「受給資格者証と公的身分証明書のコピーの提出」及び「レポートの提出」「スクーリングへの出席」「授業料の納入」が必須となります。
- ・(35期生)教育訓練給付制度(専門実践教育訓練)の支給希望の方へ
「受給資格者証と公的身分証明書のコピー」の提出をされていない方は、早急に提出してください。
- ・(35期生)見込書類(実務経験証明書)のさしかえについて
入学願書提出時に「実務経験見込証明書」を提出している方は、入学資格または実習免除を満たした期間の「実務経験証明書」の提出が必要となりますので、早急に提出してください。
- ・受講の手引の表紙裏(表紙の次のページ)に“レポート作成・提出チェックリスト”があります。
レポートの作成・提出の前に必ず確認してください。
- ・スクーリングの詳細(実施要綱等)については、全受講生に向けて発送しています。届いていない場合やご不明な点がある際は、本養成所にお早めにお問い合わせください。←New

■Test Info・・・・・・・・

国家試験に関する情報をお届けします

- ・第36回国家試験は、令和6年2月4日(日)です。
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1084641&c=3246&d=99c7>
- ・日本ソーシャルワーク教育学校連盟主催の全国統一模擬試験のご案内です。
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1084642&c=3246&d=99c7>

■Plus Info・・・・・・・・

その他の情報をお届けします

- ・日本知的障害者福祉協会では様々な情報を発信しております。
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1084643&c=3246&d=99c7>

■Back Number

過去のバックナンバーはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1084644&c=3246&d=99c7>

■Plus Column

【レポート作成講座第6号／提出の前に確認すること】

今回のレポートの提出期間は、7月15日から24日までとなります。提出期間の前の提出は受付ができません。また、7月24日は、当日消印有効としていますのでご注意ください。

「第35期生受講の手引」20ページにあります「文章作法とルール」でお断りしていますように、文章作法が守られていない場合等は、レポート審査以前の段階で事務局の判断によりお戻しします。再度、ルールを確認のうえ、再提出をお願いします。

例年、文章作法以外で返送することが多い例をお伝えします。まずは、レポート用紙についてです。レポート用紙は、指定の様式を使っていますか。下欄に科目名、課題番号、学籍番号、氏名を記入していますか。次は、レポート評価票についてです。課題番号と課題文を記入していますか。記載の科目や課題がレポートの内容と一致していますか。レポート用紙に評価票をホッチキスで止めていますか。

また、留意点として2点です。まず、郵便事故対策があります。レポートは必ずコピーをするか、データを残しておいてください。そして、郵送の際の封筒は、本養成所指定の「レポート提出用封筒」を使用し、重量に合わせた切手を貼り、「第四種郵便」で郵送してください。

提出期限間際で慌てませんように、特に第35期生は、「第35期生受講の手引」表紙の次頁に掲載のチェックリストで必ず確認してください。

レポート作成は、そもそも、印刷教材（テキスト）学習の一部でしかありません。レポートを作成・提出するだけになってしまうと、当然、学べていない部分が積み上がっていきます。国家試験に向けた勉強を本格化するとき、後悔しないようななんとか踏ん張っていきましょう。

【Plus Quiz 正答と解説】

「認知症基本法」では、認知症の人が尊厳を持って暮らせるように、認知症の人を含めた国民一人一人が、相互に人格と個性を尊重しつつ支え合いながら、共生社会の実現を推進することを目的としています。内閣には、基本計画の策定を義務づけ、都道府県や市町村には基本計画に沿った計画の策定が努力義務となりました。

「認知症基本法」では、認知症を「アルツハイマー病その他の神経変性疾患、脳血管疾患その他の疾患により日常生活に支障が生じる程度にまで認知機能が低下した状態として政令で定める状態」と定義しています。

アルツハイマー病やレビー小体型認知症、前頭側頭型認知症等の神経変性疾患、脳梗塞や脳血管障害等による脳血管疾患、その他、クロイツフェルトヤコブ病等炎症によるもの等があり、国家試験でも出題されています。中核症状や行動・心理症状（BPSD）、発症年齢、性別による発症の差等簡単な表を作り比較するのも良いと思います。共通科目1「医学概論」第6章第2節にそれぞれの説明があります。

主な認知症のスクリーニング（簡便な検査）には、ミニメンタルステート検査（MMSE）や長谷川式認知症スケール（HDSE）があります。

1. ×パーキンソン症状は、レビー小体型認知症の特徴です。レビー小体という異常なタンパク質が脳幹に蓄積することで生じます。初期段階では、幻視や妄想等神経症状やパーキンソン症状、睡眠中の異常行動等が現れます。
2. ○脳血管性認知症の特徴です。脳梗塞など脳血管障害が原因で起こり、梗塞が起こる度に認知機能が悪化していきます。まだら認知症や感情失禁等がみられます。
3. ×幻視は、レビー小体認知症の特徴です。認知機能の変動に連動し幻視が起こる傾向があり、具体的な幻視体験で、人や虫、小動物等の幻視が多いといわれています。

4. ○脳血管性認知症の特徴です。感情失禁は、症状の進行により感情の調節ができなくなり、少しの刺激で泣いたり笑ったりします。

5. ×常同行動は、ピック病に代表される前頭側頭型認知症の特徴です。原因は不明で、大脳の前頭葉や側頭葉の限局性萎縮がみられます。40～60歳代で発症します。症状の進行に伴い、自制力の低下や感情鈍麻、常同行動、盗み等の反社会行動、道徳観の低下、人格変化が見られます。後期には、精神機能の荒廃が進行し、無動・無言となり寝たきりになります。

※認知症については、第26、27、28、29、32、34回で、認知症対策や専門職の役割については、「高齢者に対する支援と介護保険制度」の第27、29、31、32、33回で、「地域福祉の理論と方法」の第27、28、30、33回で出題されています。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町2-7-19 KDX 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus